

世界の商・環境グラフィックス

取材・文 / 田口泰彦(環境デザイナー)

VOL. 09

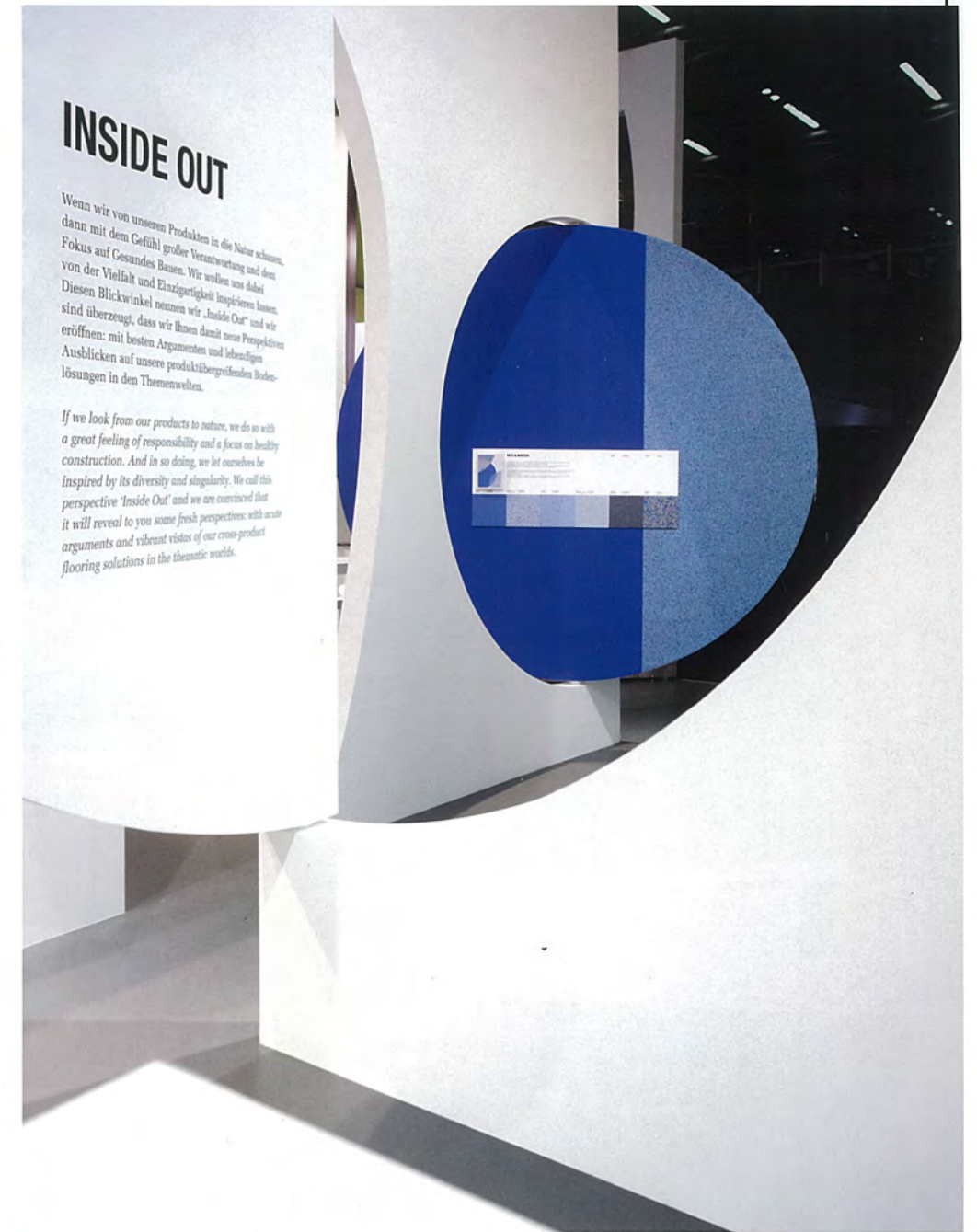
「BAU 2017」はドイツ・ミュンヘンで開催される建築、建材、建築システム専門の見本市だ。ドイツの床材メーカーDLWは、単調になりがちな展示ブースを、大小の円形パターンの積層で構成した。展示する商品を回転パネルに貼り、パターンの重なりをつくることで、空間に可変性と奥行きを演出している。

MUNICH, GERMANY

回転パネルが多様な見え掛かりを演出する展示ブース

DLW FLOORING — BAU 2017

Design Firm / Ippolito Fleitz Group  
Photographer / Ulrich Beuttenmüller  
Ippolito Fleitz Group Gmbh



- ① 展示ブースをメインエントランスから見る。白い壁が空間全体のアウトラインをつくりだし、そこに商品サンプルを表裏に貼った円形パネルを挿入した。回転するパネルの向きを変えて動的なイメージをつくることで、ブースに深みが出るよう意図した
- ② 顧客はパネルを回転させ、楽しみながら商品のカラーバリエーションに触れることができる
- ③ 複層的な構造のブースは、見る距離によって変わる商品の色を見せ、パネルの重なりによる色の比較を可能にする

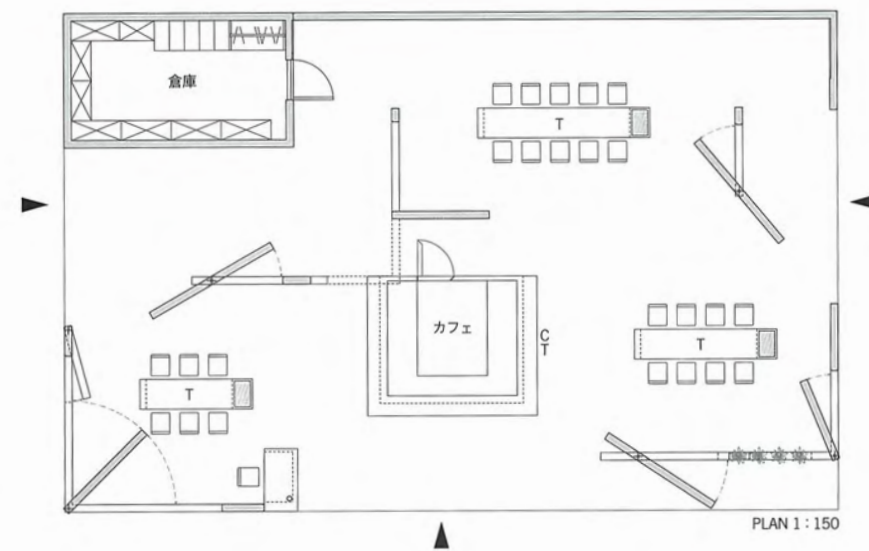




④ パネル近景。商品サンプルは複数色の組み合わせで展示された

⑤ 中央の受付カウンターはカフェとして顧客とのカジュアルな商談の場になる

⑥ パンフレットは同デザイナーによる空間と連動したデザイン。円形のカッティングが施されている



DATA

DLW フローリング BAU 2017

床面積：155㎡  
 竣工：2017年1月  
 主な使用素材：MDF、タイル、合板、メタル